

(様式4)

公共事業再評価調書

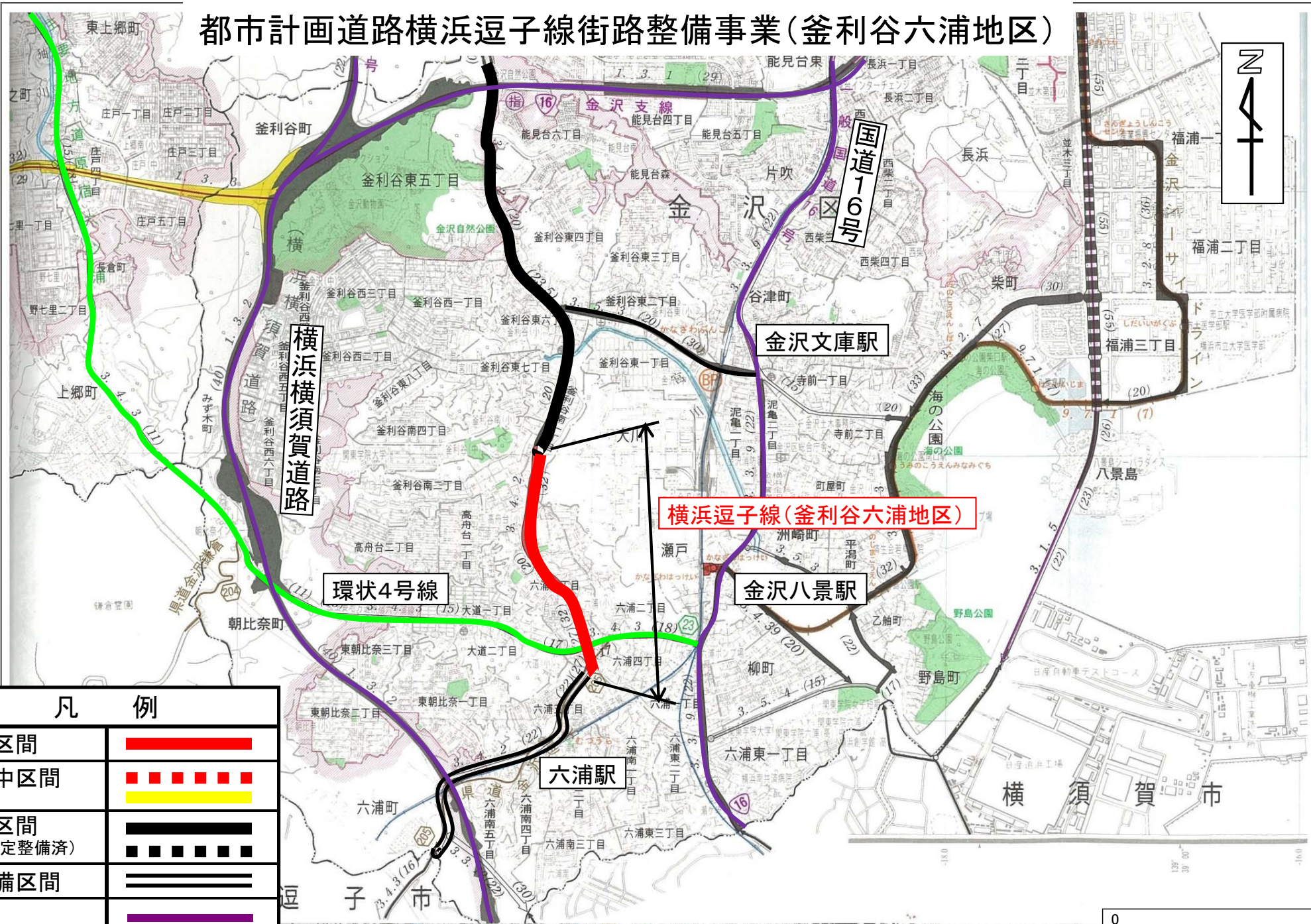
番 号	道路-4		事業担当局課	道路局建設課	
事業名	都市計画道路 横浜逗子線(釜利谷六浦地区)			採択年度	平成16年度
施工場所	金沢区釜利谷南一丁目～六浦四丁目			経過年数	18年
目的及び 事業概要	<p>目的</p> <p>横浜逗子線は、横浜市港南区上大岡西二丁目の横浜鎌倉線から金沢区六浦町(逗子市境)に至る延長約11kmの本市の幹線道路網の骨格を形成する重要な幹線道路です。</p> <p>釜利谷六浦地区は、釜利谷一丁目から六浦四丁目までの1,400mの区間です。本地区を整備することにより、本市南部地域の道路ネットワークが強化され、国道16号線や周辺道路の渋滞が緩和され、交通利便性の向上が図られます。</p> <p>なお、本事業は平成25年度に再評価を実施しています。</p> <p>概要</p> <p>延長1,400m、幅員20～32m、用地面積35,668㎡</p>				
			当初(事業採択時)	変更(平成25年度)	変更(令和3年度)
	事業期間		平成16年度～平成22年度	平成16年度～平成29年度	平成16年度～令和6年度 (延伸予定) 令和13年度完了見込み
	事業費	合計	18,500百万円	18,500百万円	18,500百万円
		国費	9,250百万円	9,250百万円	9,250百万円
		市費	9,250百万円	9,250百万円	9,250百万円
	変更内容		事業費の確保ができなかったため、事業が予定通り進捗せず、事業期間を延伸しています。		
	上位計画等		<p>本市の「中期4か年計画」において、「交通ネットワークの充実による都市基盤の強化」として、都市計画道路の整備が位置付けられています。</p> <p>また、「横浜市地震防災戦略」においても、「緊急輸送路等の整備」として、幹線道路の整備が位置付けられています。</p>		
関連事業		特になし			
事業の 必要性	事業を巡る 社会経済情 勢等の変化	<p>環状4号線や泥亀釜利谷線の幹線道路と連絡し、本市南部地域の交通の円滑化が図られます。</p> <p>また、周辺の狭い生活道路に入り込んでいる通過交通が本路線に転換されることにより、地区内の生活環境の改善や、歩行者の安全性が向上します。</p>			

	事業の 投資効果 ・ 事業効果等 (費用便益分析等)		事業全体	残事業
		割引率	4%	
		総便益(B)	355 億円	
		総費用(C)	188 億円	
		費用便益比 (B/C)	1.9	
		感度分析 [交通量-10%]	1.5	
	[定性的効果] 歩道が確保されることで、歩行者の安全性や利便性の向上、通学路の安全性向上に寄与します。 [その他特記事項]			

事業の 進捗状況	事業進捗率%	令和2年度末までに 84%の用地取得をしており、令和3年度は、環状4号線から北側 200m 区間の道路工事に着手しています。令和4年度から本格的な構造物の工事に着手する予定です。
	24%	
	用地取得率%	
	84%	
	供用等の状況	
—		
事業の課題 及び 進捗見込み	令和3年度より、交通安全対策事業(通学路の安全対策)として国の重点施策に合致する路線に位置付けられたことから、今後は事業進捗を見込んでいます。今後も用地取得を進めるとともに、擁壁やトンネルなど大規模な構造物の工事の発注に向けて、詳細な設計や施工方法の検討を進めていきます。	
その他 (コスト削減項目等)	トンネル等の構造物を設計する際には、コストを意識した構造及び施工方法の検討を行います。また、工事施工においては、建設発生土の工事間流用を行い、運搬費及び残土処分費のコスト削減を図ります。	
その他	—	
添付資料	有 ・ 無	
対応方針		計画通り(上記計画を実施)
	継続	一部見直し(上記計画を変更)
		【見直し内容】
		中止

対応方針 とした理由	<p>本路線は、本市の幹線道路網の骨格をなす、3環状10放射道路に位置づけられており、本市道路網の形成に果たす役割は大きく、早期に事業完了を図る必要があります。また、用地取得率が84%に達しており、令和3年度より環状4号線から北側の200mの区間については、工事着手しています。</p> <p>歩行者の安全性向上や交通の円滑化に寄与する路線であり、用地取得が残りわずかとなっていることや、交通安全対策事業として国の重点施策に合致する路線になったことから、事業を継続する必要があると判断します。</p>
---------------	--

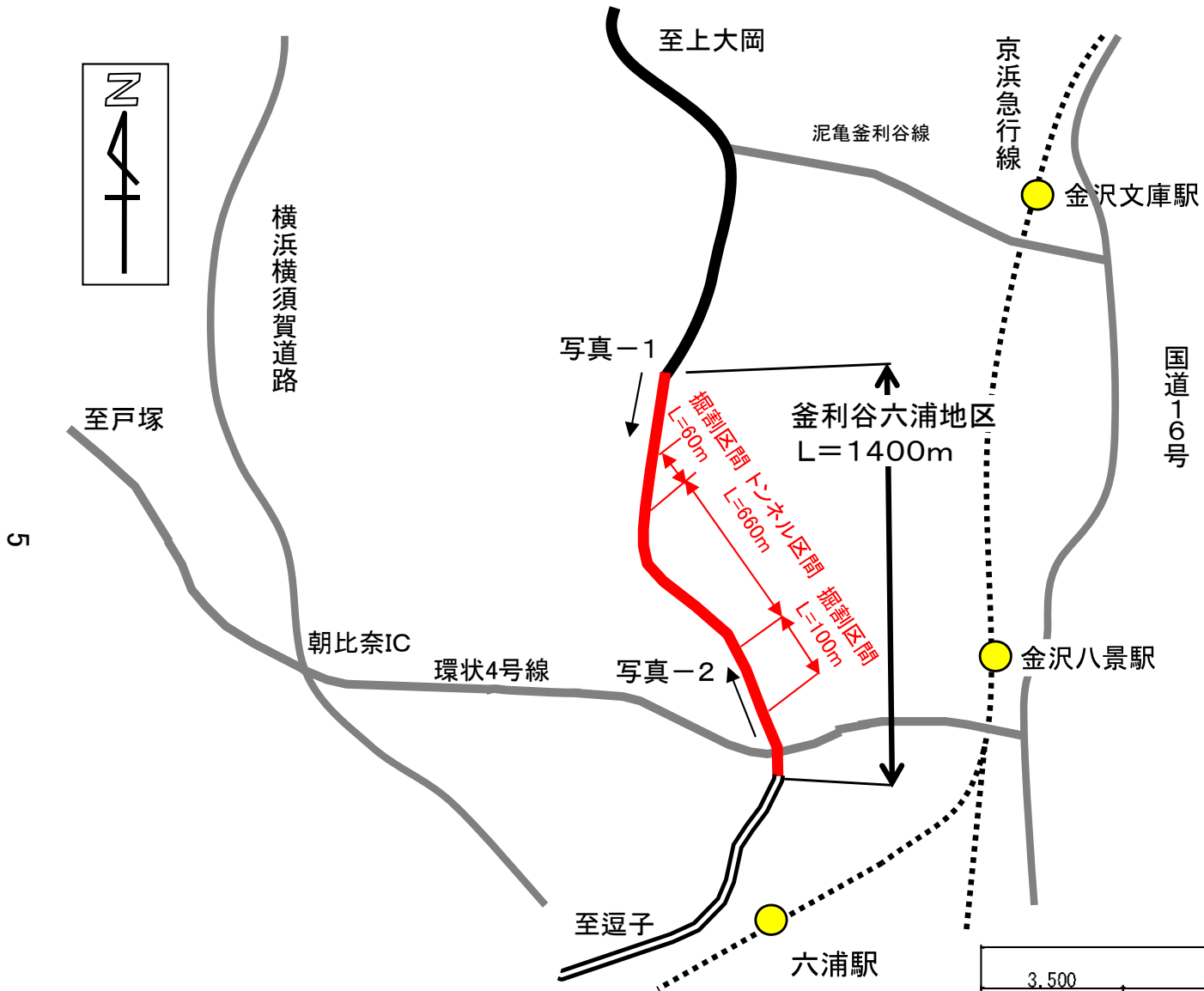
# 都市計画道路横浜逗子線街路整備事業(釜利谷六浦地区)



4

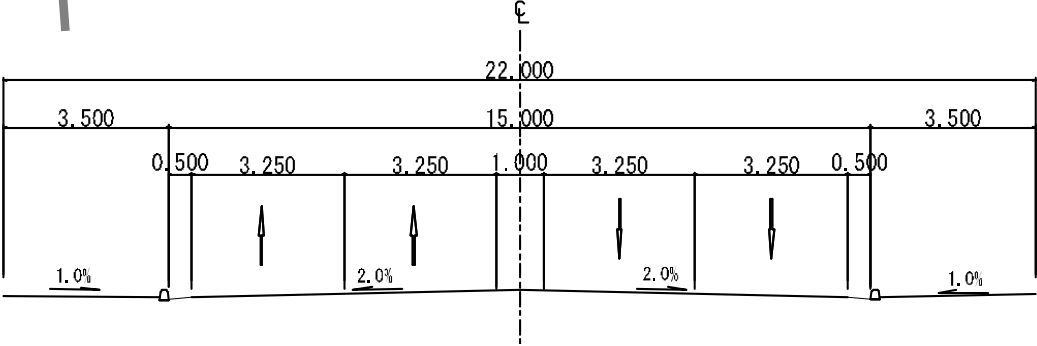
凡 例	
対象区間	
事業中区間	
完成区間 (暫定整備済)	
未整備区間	
国道	
主要地方道	

# 都市計画道路横浜逗子線街路整備事業(釜利谷六浦地区)

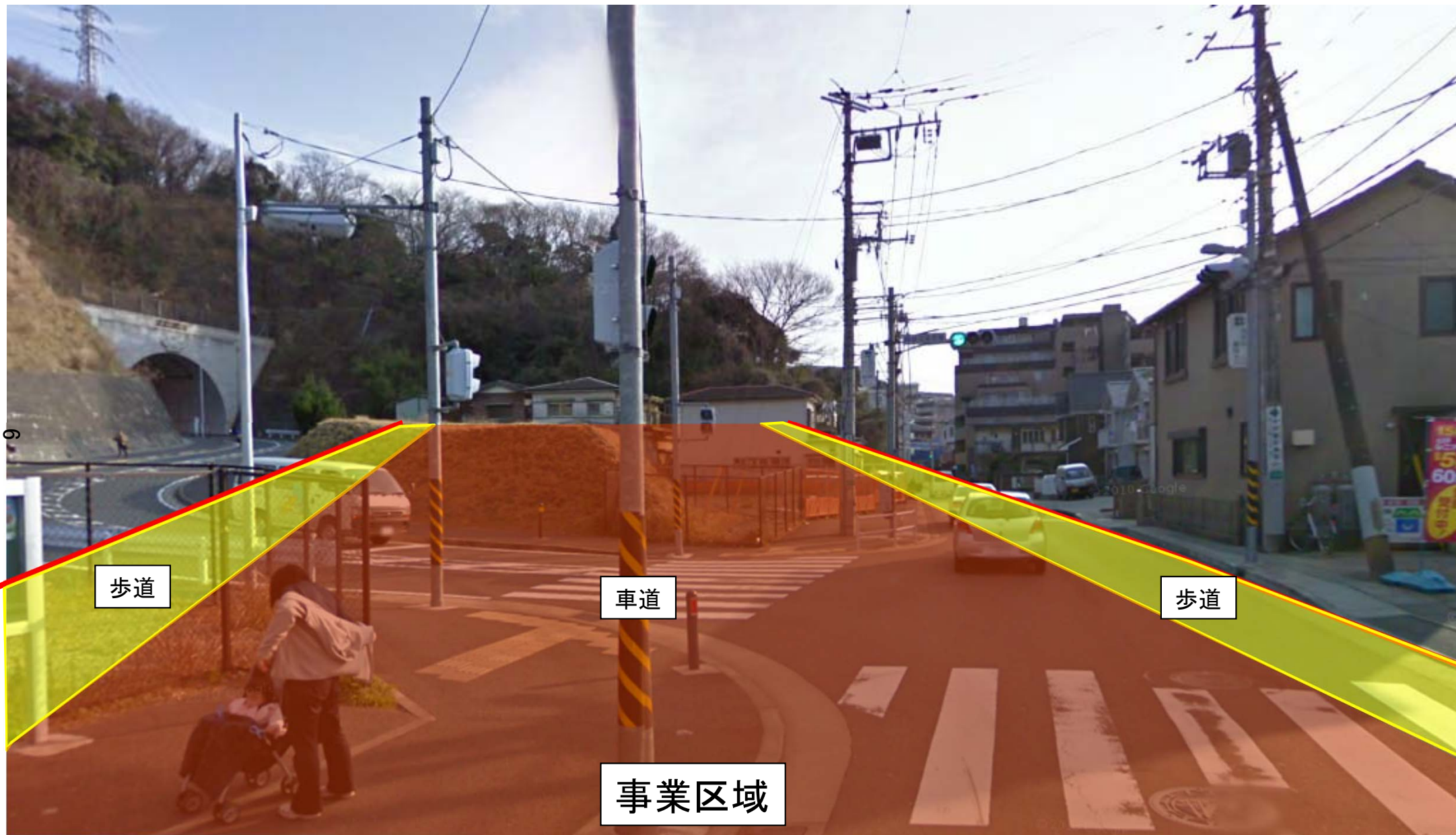


凡 例	
対象区間	
事業中区間	
完成(概成)区間	
未整備区間	

標準断面図



# 都市計画道路横浜逗子線街路整備事業(釜利谷六浦地区)①



歩道

車道

歩道

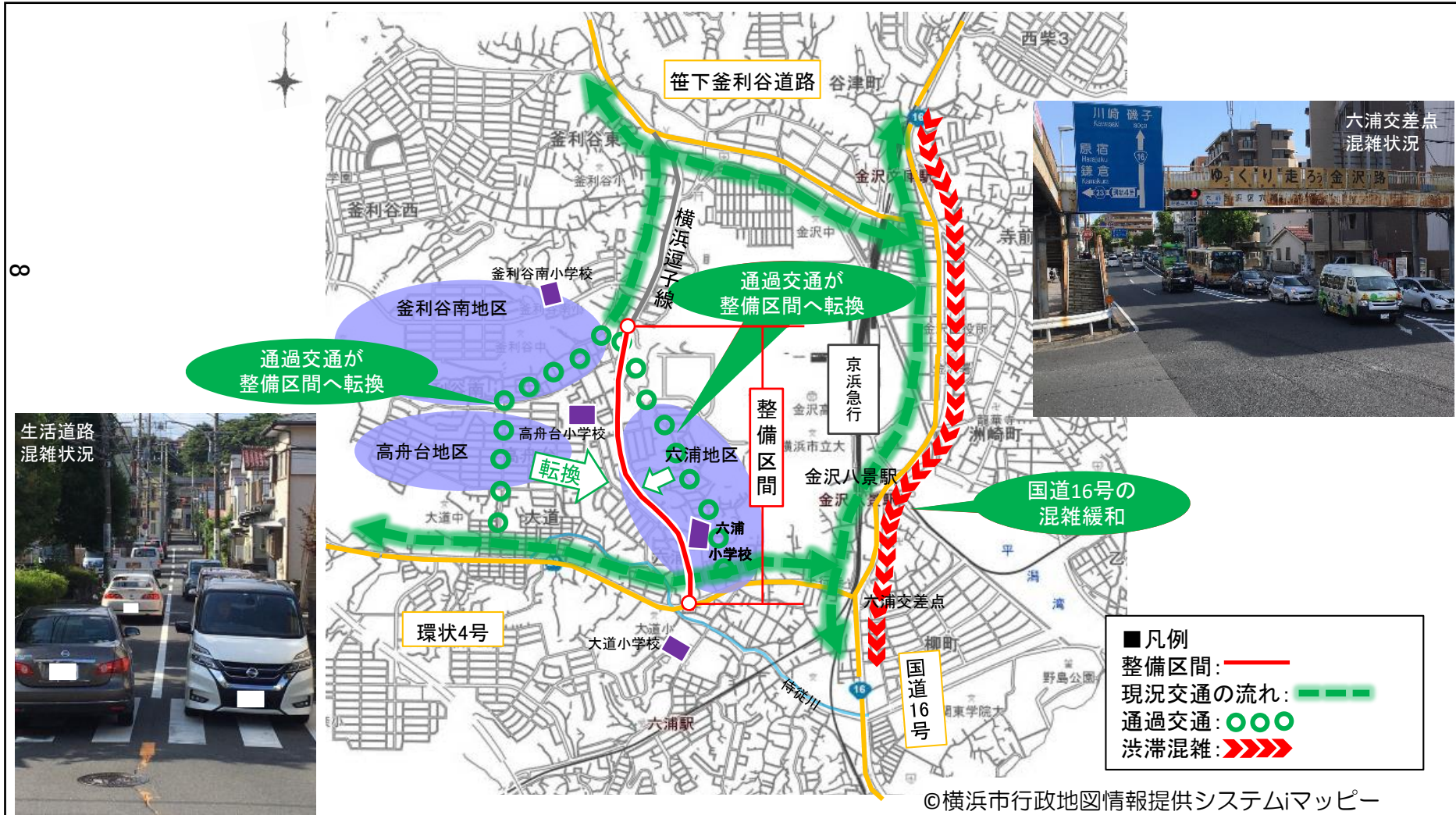
事業区域

都市計画道路横浜逗子線街路整備事業(釜利谷六浦地区)②



## 整備効果

- ① 幹線道路ネットワークが強化され、国道16号の渋滞が緩和されます。
- ② 生活道路に入り込んできている通過交通が横浜逗子線に転換することにより、地区内の生活環境の改善が期待されます。





# 事業進捗状況

## 横浜逗子線（釜利谷六浦地区）

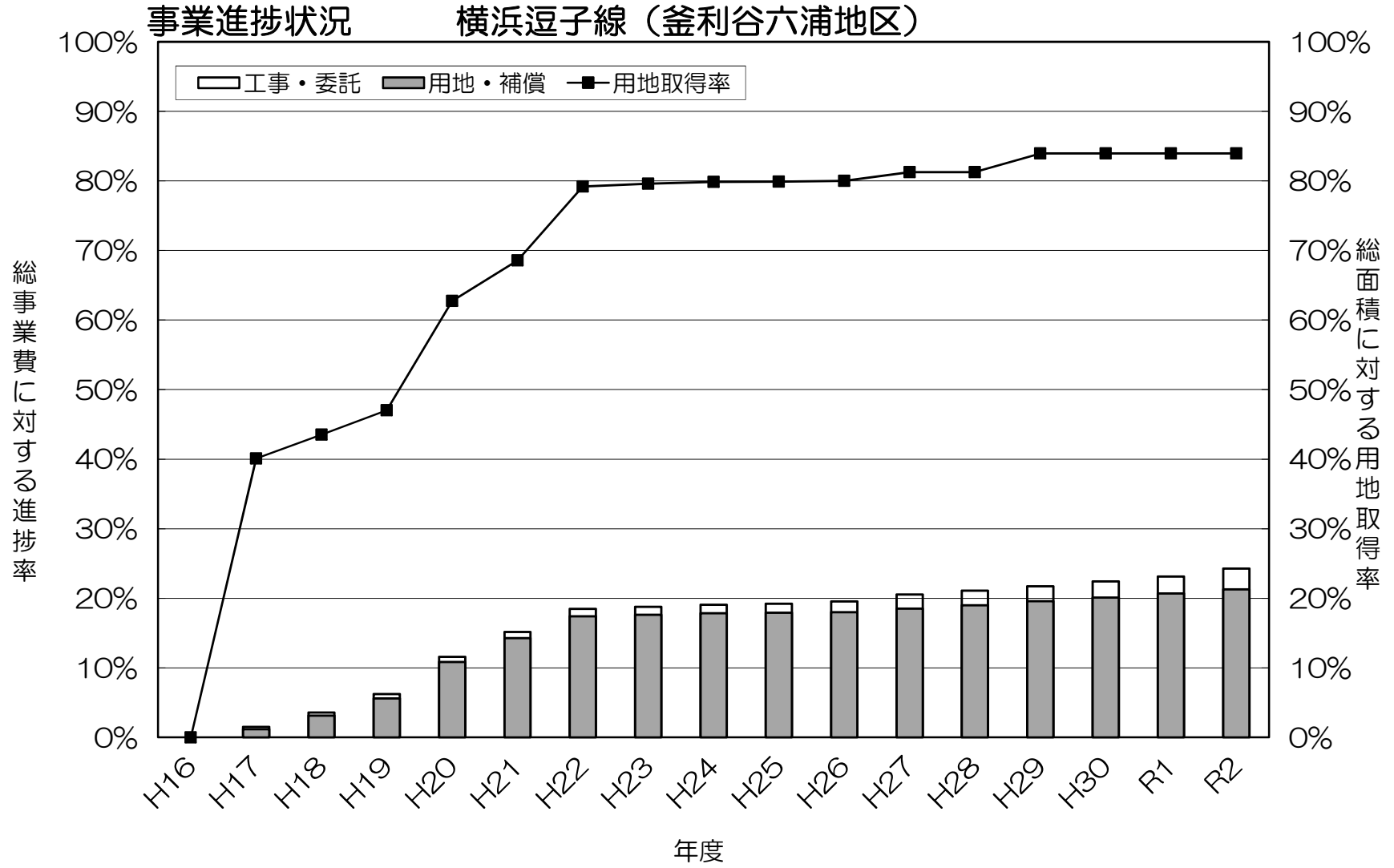
(単位：百万円)

年度	単年度事業費			累計事業費		事業進捗率			用地取得		
	合計	用地・補償	工事・委託	用地・補償	工事・委託	合計※1	用地・補償※2	工事・委託※2	取得面積(m <sup>2</sup> )	累計(m <sup>2</sup> )	用地取得率※3
H16	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0.0%
H17	281	215	66	215	66	1.5%	1.2%	0.4%	14,298	14,298	40.1%
H18	377	362	15	577	80	3.6%	3.1%	0.4%	1,224	15,522	43.5%
H19	491	456	35	1,033	116	6.2%	5.6%	0.6%	1,247	16,769	47.0%
H20	989	970	19	2,003	135	11.6%	10.8%	0.7%	5,617	22,386	62.8%
H21	668	633	35	2,636	169	15.2%	14.3%	0.9%	2,080	24,466	68.6%
H22	615	585	30	3,221	200	18.5%	17.4%	1.1%	3,786	28,252	79.2%
H23	51	37	14	3,258	214	18.8%	17.6%	1.2%	146	28,398	79.6%
H24	57	44	13			19.1%	17.8%	1.2%	92	28,490	79.9%
H25	25	12	13			19.2%	17.9%	1.3%	8	28,498	79.9%
H26	59	17	42			19.5%	18.0%	1.5%	46	28,544	80.0%
H27	188	92	96			20.5%	18.5%	2.0%	441	28,985	81.3%
H28	101	93	8	3,350	222	21.1%	19.0%	2.1%	0	28,985	81.3%
H29	117	105	12			21.7%	19.6%	2.2%	960	29,945	84.0%
H30	129	100	29	100	29	22.4%	20.1%	2.3%	0	29,945	84.0%
R1	130	108	22	108	22	23.1%	20.7%	2.4%	0	29,945	84.0%
R2	208	111	97	111	97	24.3%	21.3%	3.0%	0	29,945	84.0%
合計	4,486	3,939	547						28,985		

※1 事業進捗率（合計）は全体事業費に占める各年度までの用地補償費と工事委託費の和

※2 事業進捗率（用地補償、工事委託）は全体事業費に占める各年度までの用地補償費もしくは工事委託費の割合

※3 用地取得率は事業全体の取得面積に占める各年度までの取得面積の割合



前回再評価内容との比較 都市計画道路横浜逗子線（釜利谷六浦地区）街路整備事業

	前回（H25）	今回（R3）	8年間の経過
事業を巡る社会経済情勢等の変化	金沢区には南北に抜ける幹線道路が国道 16号だけであるため、慢性的に渋滞している。また、歩道のない生活道路を抜け道として利用する通過交通量が多く、通学路などが危険になっている。地元から早期完成の要望を受けています。	金沢区には南北に抜ける幹線道路が国道 16号だけであるため、慢性的に渋滞している。また、歩道のない生活道路を抜け道として利用する通過交通量が多く、通学路などが危険になっている。地元から早期完成の要望を受けています。	依然として国道 16号線の慢性的な渋滞や歩道のない生活道路を抜け道として利用する通過交通量が多く、通学路などが危険になっていることから、逗子線の早期完成が必要です。
事業進捗率	19.1%	24.3%	+5.2%
用地取得率	79.9%	84%	+4.1%
供用等の状況	---	---	---
事業の進捗見込	起点側および終点側の用地買収に時間を要しているため、工事着手に至っておりません。	令和2年度末までに 84%の用地取得をしており、令和3年度は、まとまって用地取得ができた環状 4号線から北側 200m 区間の道路工事に着手しています。	令和3年度より、交通安全対策事業として国の重点施策に合致する路線に位置付けられたことから、今後は事業の進捗を見込んでいます。 今後も用地取得を進めるとともに、擁壁やトンネルなど大規模な構造物の工事の発注に向けて、詳細な設計や施工方法の検討を進めていきます。